

ふしょうっこ日記

令和8年2月3日

3年 社会科の学習

今日の午後は「ふしょうっこタイム」を行う予定でしたが、学級閉鎖のクラスがあることと、体調不良による欠席者も多いため、全校での交流活動を控えることにしました。急遽、各学級での教科学習を行いました。

中ホールに行くと、3年生の子供たちが、社会科の「安全な暮らしを守る仕事」の学習をしていました。教室に入った途端、「聞いて!」と勢いよく話してくれる児童がいました。消防士さんの実物の服があり、とっても重いこと、それを消防士さんは20秒で着替えるそうだけど、自分はとてもそんなに早く着替えられない、と説明してくれました。子供たちは、順番に消防士さんの服を着ていました。周りで、20秒のカウントダウンをしていました。確かに重くて、素早く動くことは難しそうでした。服は、社会科の担当が消防署で借りてきたとのこと。実物に触れた子供たちは、「安全な暮らしを守るために、消防士さんたちはどんな工夫をしているのか」というめあてに向かって、探究をしていました。「消防車の工夫」「消防士の仕事」「消防士の設備」「消防隊員の服装」「消防署の場所」について、工夫をたくさん見つけていました。見つけたことをプリントにいっぱい書いた後、本時の学習の振り返りも、集中してノートに書いていました。思いがあふれ出てくるようでした。

